

中原通信

文責 増永 善久



学校の行事から

◎集団宿泊教室 (inあしきた)

6月30日(日)～7月2日(火)の2泊3日、5年生の集団宿泊教室を町の3小学校合同であしきた青年の家において、実施しました。雨天で変更になった活動もありましたが、充実した3日間でした。

1日目は水俣の環境センター等での学習、2日目は室内レクリエーションと水泳学習(海水浴体験)、3日目はクラフト(焼き杉)づくりを実施しました。3日間をとおり他校との親睦を深め、楽しく元気に活動する姿が見られたとのことでした。

2泊3日の活動で、友だちやクラスの新たな良さが発見できていればいいなと思っています。集団宿泊教室をはじめ様々な経験を通して、5年生の視野が広がり、さらなる成長につながることを期待しています。



◎北里柴三郎記念館訪問 (2年生)

7月3日に新紙幣が発行されました。新1,000円札には「近代日本医学の父」と呼ばれる小国町出身の北里柴三郎博士の肖像画が採用されています。その北里博士の記念館を3小学校の合同学習として2年生が7月16日に訪れました。郷土の偉人について、学習することで、ふるさとの良さを知り、ふるさとを誇りに思う気持ちの育成につなげていきたいと思っています。

また、北里博士の言葉に「学力とは、幼少の時からつづけた勉強がもとなる」とあるそうです。この言葉は、本校のめざす児童像の1つである「自ら進んで学び、学ぶ楽しさを実感できる子ども」に通じるものがあると感じています。めざす子ども像に向け、本校では、特に学習リーダーの育成に力を入れた取組を進めています。



(残念なことに1,000円札の新紙幣の実物を私はまだ見ていません。)

夏休みを迎えるにあたって

明日7月20日(土)～8月25日(日)まで夏休みです。夏休みは、いろんな「出会い」を大切にしてほしいと思います。本との出会いもいでしょう、地域の活動に参加するのもいでしょう、何かに出会い、子どもたちが見聞を広げてくれたらと思います。現代のような変化の激しい社会に対応するためには、積極性や粘り強さ、協調性、計画性、自制心、コミュニケーション能力等の「非認知能力」の育成が大事です。非認知能力は、人や社会との関わり「出会い」のなかで育成される部分が大いだと思います。人や社会との出会いを大切に、非認知能力を育むとともに、様々な価値にふれ、視野を広げ、新たな自分を発見し、自分の可能性も広げてほしいと思います。そして、豊かな感性や人権感覚を持った人へと成長してもらいたいです。

ただ、夏休みは心配なこともあります。夏休みは情報通信機器に触れることも増えるのではないのでしょうか。情報通信機器は子どもたちの学びの場を広げる有効な面もありますが、使い方を誤れば様々なトラブルに巻き込まれる可能性もあります。例えば、「使いすぎによる生活リズムの乱れ」「悪口を書き込むなどのネット上でのいじめ」「勝手に写真や動画をネット上にあげるなど個人情報の流失」など、便利なはずの機器が子どもたちに悪影響を及ぼす可能性があります。夏休みに入り、家庭でタブレットやスマホ等の通信機器を使う時間も増えることが予想されます。先日、実施しました「親子SNS講話」等を参考に、夏休み前にも、通信機器の使い方についてご家庭でも確認いただきますようお願いいたします。また、南小国町は観光地でもあり、夏休みは交通量が増えることが予想されます。交通事故防止についてもご家庭でご確認していただけると幸いです。

〈熊本県教育委員会より〉

児童生徒のための

『くまもと携帯電話・スマホの利用5か条』

- 【第1条】(守ろう!わたしたちの健全な暮らし)
「約束しよう!夜10時から朝6時は使わない」
- 【第2条】(守ろう!私たちの安全・安心)
「設定しよう!フィルタリングは当たり前」
- 【第3条】(守ろう!私たちの人権)
「尊重しよう!画面の向こうの相手のこと」
- 【第4条】(守ろう!私たちのプライバシー)
「判断しよう!知らせていいこと悪いこと」
- 【第5条】(私たちの1条:各ご家庭で)

(それぞれのご家庭にあわせたルールを)

※7月5日の授業参観・救急救命法の講習・学級懇談会への参加および第1ステージの様々な学校活動へのご理解とご協力ありがとうございました。また、夏休みはサマースクールやプール開放などお世話になります。